

鶴見岳・伽藍岳の火山活動に関する災害情報について (第7報)

令和4年7月22日
16時00分現在
大分県災害対策連絡室

1 火山名 鶴見岳・伽藍岳

2 噴火警報等の発表状況

7月8日 5時10分 噴火警戒レベルを1(活火山であることに留意)から
2(火口周辺規制)に引き上げ

3 県の災害対応状況

7月8日 5時10分 大分県災害対策連絡室設置
大分県北部地区災害対策連絡室設置
大分県中部地区災害対策連絡室設置
大分県東部地区災害対策連絡室設置

4 被害状況

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1)人的被害 | なし |
| (2)建物被害 | なし |
| (3)道路被害(道路規制含む) | 県道1件 詳細は別紙のとおり |
| (4)河川被害 | なし |
| (5)土砂被害 | なし |
| (6)農林水産業被害 | なし |
| (7)文教施設被害 | なし |
| (8)ライフライン被害 | なし |
| (9)交通被害 | なし |
| (10)その他被害 | なし |

5 火山活動の状況

伽藍岳では、8日2時47分より山体を震源とする火山性地震が多発し、伽藍岳付近を震源とする火山性地震が92回発生しました。

9日から本日(22日)15時までは発生していません。

6 防災上の警戒事項等

伽藍岳の火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

これは速報であり、数値等は今後変わることがあります。

